

平成 26 年度生田緑地マネジメント会議第 3 回運営会議 議事録

1. 日 時 平成 26 年 10 月 10 日(金) 18:30~20:30

2. 場 所 生田緑地東口ビジターセンター2F

3. 議事概要

<報告事項>

- 自然会議からの報告
- 生田緑地モニタリングについて
 - ・生田緑地モニタリングのご案内・・・・・・・・・・〔資料 1〕
- 生田緑地の案内を考えるプロジェクト会議からの報告
 - ・生田緑地の案内を考えるプロジェクトニュースレター第 6、7 号
 - ・プロジェクトの経過報告・・・・・・・・・・〔資料 2〕
- みどりのサロンの開催について
- 植生管理計画の策定について
 - ・植生管理計画の策定について・・・・・・・・・・〔資料 3〕
- マネジメント会議会員からの情報提供

<協議事項>

- 生田緑地の整備について
 - ・生田緑地の整備について・・・・・・・・・・〔資料 4〕
- 生田緑地のルールについて
 - ・生田緑地におけるルールの分布(案)、(参考)・生田緑地のルール看板
・・・・・・・・・・〔資料 5〕

4. その他の配布資料

- ・次第
- ・平成 26 年度 第 2 回運営会議議事録・・・・・・・・・・〔参考資料 1〕
- ・平成 26 年度 第 2 回運営会議ニュースレター・・・・・・・・・・〔参考資料 2〕

5. 議事内容

○挨拶等

(事務局)

- ・平成 26 年度生田緑地マネジメント会議第 3 回運営会議を開催する。
(配布資料の確認と議事の案内を行った。)
- ・参加者 25 名で会議は成立した。

(会長)

- ・ワークショップもあるので、説明ごとに意見があれば出して貰いたい。

- ・ 自然会議からの報告と生田緑地モニタリングについては、自然会議会長が到着していないので後に回すこととする。

○報告事項【第6、7回 生田緑地の案内を考えるプロジェクトの報告】

(案内プロジェクトリーダー)

- ・ 第6回、第7回のプロジェクト会議では、問題点を洗い出して解決するために熱い議論を楽しく行った。
- ・ 新たな取り組みとしては2つあり、1つ目として向ヶ丘遊園駅からばら苑までの道に、ピンク色ののぼりをプロジェクトのメンバーで設置した。2つ目は、地元の方々が知らないという声があったので、ばら苑の宣伝として自治会に回覧板を回した。

(事務局)

- ・ 案内プロジェクトの取り組み経過を報告する。これまで出された意見やアイデアについての進捗状況を配布資料にまとめている。
- ・ ー資料「プロジェクトの経過報告」により説明ー

(多摩区観光協会)

- ・ 宿河原駅からののぼりによる案内がなかったので、検討してもらいたい。

(案内プロジェクトリーダー)

- ・ 宿河原駅からの方が、ばら苑に近いので案内できるようにしたいと考えている。今年が初年度ということもありゆっくりすすめているが、今後、指摘を頂いた点についても推進していけると思う。

(会長)

- ・ のぼりの設置や撤去などの対応もあり、現在のプロジェクトメンバーでは向ヶ丘遊園駅までの案内で手いっぱいであるという課題があるので、アイデアを寄せてほしい。

(生田緑地運営共同事業体広報担当)

- ・ ばら苑に来て頂いても生田緑地を知らない方もいるので、生田緑地への案内ビラを作成した。
- ・ 生田緑地で一休み、ひと遊びができることをPRするビラを試験的に作成した。ばら苑入口で配布する予定。

(案内プロジェクトリーダー)

- ・ 藤子・F・不二雄ミュージアムから生田緑地へのバスは空いているので利用してもらいたい。ミュージアムからのバスについても今後はチラシに入れることを検討してほしい。

(会長)

- ・ 会員の皆さんもお互いに意見があれば寄せてほしい。
- ・ 一人ひとり違うアンテナで情報を集めて、蓄積をしたい。

○報告事項【みどりのサロンの開催について】

(飛森谷戸の自然を守る会)

- ・ 第2回目のみどりのサロンの開催に向けて準備をしている。
- ・ 11月19日（水）18時30分からを予定している。
- ・ 詳細について決まり次第、皆さんにお知らせしたい。

○報告事項【植生管理計画の作成について】

（生田緑地整備事務所所長）

- ・ 配布資料の通り、生田緑地植生管理計画を策定した。
- ・ 生田緑地を幾つかの「ゾーン」に分けている。
- ・ それぞれの「ゾーン」の下に「ブロック」を設け、それぞれの目標植生を定めている。
- ・ 自然会議で合意して、行政計画として策定したものである。

（会長）

- ・ 植生管理等については、自然会議の勉強会に参加したり、里山倶楽部の活動に参加すれば分かるようになるかもしれないので、皆さんもぜひ参加して理解をして欲しい。

○報告事項【マネジメント会議会員からの情報提供】

＜講演会について（川崎商工会議所）＞

- ・ 10月28日（火）16時から涌井史郎先生にお越しただいて、無料でのセミナーを多摩区役所の11階会議室で開催する。
- ・ マネジメント会議の皆さんにもぜひ参加してほしい。

＜とんもり谷戸 森の音楽会について（飛森谷戸の自然を守る会）＞

- ・ 明日10月11日18時から、「おもい出のうたのこみち」にある多目的広場でジャズのグループを呼んだコンサートを開催するので是非聞きにきてほしい。

＜多摩区民祭について（多摩区地域振興課）＞

- ・ 10月18日に第37回目の多摩区民祭が開催される。
- ・ ステージの舞台公演のほか、芝生広場では85区画のテントで飲食・物品販売・展示を行う予定である。
- ・ 民家園では骨董市、美術館階段下では抽選会がある。また、各施設の入場割引もあり、キックターゲット、JRの新型車両の乗車体験などがあり、バラエティーに富んだ内容になっているので参加してほしい。
- ・ 実行委員会が主催となっており、自治会やスポーツ振興会等で構成されている。

＜民家園まつりについて（日本民家園）＞

- ・ 11月3日（月祝）の文化の日に民家園まつりを開催する。
- ・ 当日は無料で入園できる。農村歌舞伎は有料となるが、なかなか見られないので、ぜひ見てほしい。
- ・ ポスターを持ってきたので、出席者各位には事業所等での掲示をお願いしたい。

＜もりのにじについて（生田緑地運営共同事業体協働担当）＞

- ・ 指定管理者の自主事業「もりのにじ」の11月、12月のイベントをパンフレットに掲載している。

＜その他＞

（会長）

- ・ 向ヶ丘遊園駅の地下道開設式典、植樹祭への参加要請が来ているので参加を希望する方は連絡をして欲しい。

○協議事項【生田緑地の整備について】

(みどりの保全整備課)

- ・ 生田緑地の整備事業について計画段階・設計段階・工事段階で、生田緑地マネジメント会議に情報を共有して意見交換の場を設定することになっているので説明をしたい。
- ・ ゴルフ場のクラブハウス解体・キャディハウス建替え、ゴルフ場の防災時搬入経路整備、初山地区の広場整備計画がある。
- ・ ゴルフ場のクラブハウスの解体は今年度11月頃まで行っており、解体後に設計を行う予定である。建物跡地を休憩スポットとして整備することを検討している。面積は2,500㎡程度となる。
- ・ ゴルフ場のキャディハウスの建て替えとして、リース切れとなるプレハブについて同じ程度の規模で鉄骨の建物への建替を予定している。平成27年3月ごろに工事を始める予定としている。
- ・ 生田緑地は広域避難場所に指定されており、ヘリポートの活動拠点となる計画がある。ヘリポートへの防災時搬入経路を確保するため、自衛隊の緊急車両の搬入路の設計と整備を今年度実施する予定である。
- ・ 初山地区の広場整備計画は、第2期としての工事を予定している。飛森谷戸の自然を守る会と協議をして、農を活かす空間として検討しており、生田緑地の新しい魅力ある場所にしたいと考えている。池や流れについても整備をしたい。また、ジャガイモ学校の場所は引き続き自然体験学習ができるように整備をする予定である。その他に、広場と園路の整備を予定している

(向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会)

- ・ 生田緑地の整備については市民の意見を途中まで聞いて、行政が計画を出してやってしまうことが繰り返されている。
- ・ マネジメント会議では計画の段階で市民に説明をするというルールを決めたはずである。
- ・ 市民が多く利用するクラブハウスの跡地については早めに説明をしてほしかった。
- ・ 宮城県岩沼市の復興のように白紙の状態から住民と相談することで進むようなこともあるので参考にして欲しい
- ・ 生田緑地でも中央広場の噴水整備については広く市民に相談して、現在のデザインになったという経緯がある。
- ・ クラブハウスこそ市民と行政の連携の絶好の事例になると思う。

(みどりの企画管理課)

- ・ 解体途中なのでこれから設計することとなる。
- ・ 休憩スポットと展望施設が入るように考えているが、意見があれば出してほしい。

(日本民家園 園長)

- ・ 設計を委託するにあたっての何らかのイメージはあると思うので、その辺のどこ

ろを教えて欲しい。

(みどりの保全整備課)

- ・ 平場にベンチなど置いて、スロープで下まで散策するようなイメージである。
- ・ 景石や流れを作るようなことも視野に入れている。
- ・ ゴルフ場とは区域を分けて、公園的な整備を計画している。

(多摩区まちづくり協議会)

- ・ 今のクラブハウスを撤去すると斜面地となるが、ゴルフのプレーは見えるようになるのか。
- ・ プレーする側の人達には迷惑にならない配慮はできるのか。

(みどりの保全整備課)

- ・ 距離を離して植栽を植えるなどであればそれほど心配はないと思う。

(飛森谷戸の自然を守る会)

- ・ ガーデニングできる面積を増やしても良いのではないか。
- ・ プレーヤーに迷惑の掛からない施設にして欲しい。

(多摩区まちづくり協議会)

- ・ 生田緑地に入ってすぐなので休憩するよりも何もしないで木を植えた方がよいのではないか。
- ・ 現地からではゴルフしか見えない。

(みどりの保全整備課)

- ・ 将来的には、ゴルフ場外周を含めて全域をまわる回遊性のある計画を検討している

(多摩区まちづくり協議会)

- ・ 都市公園としての扱いなのか？ゴルフ場区域内なのか？
- ・ コストを掛けずに行った方がよいのでは

(みどりの保全整備課)

- ・ 都市公園区域である。ゴルフ場の敷地ではなくなる。
- ・ あまりコストをかけないことには賛成である。

(日本民家園)

- ・ 大型バスの駐車場にはならないか？

(みどりの保全整備課)

- ・ 生田緑地の管理運営の課題ではあるが、現時点で車両の関係での利用は予定していない。

(日本民家園)

- ・ 土日に大型バスを駐車できないという弱点がある。
- ・ 土日に大型バスを止められる場所を確保することは重要である。

(生田緑地整備事務所所長)

- ・ 大型バスについては、どこかに土地があれば何とかしたいと考えている。
- ・ 指定管理者が駐車場所を探しているが、クラブハウスの跡地では難しいと思う。

(日本民家園)

- ・ 将来的に考えてほしい。
- ・ 現在も路上に停まっている観光バスがある。
- ・ 今後もバスが増えれば、観光バスをどこにどのように置くかを考えなければならない。

(会長)

- ・ バスについての意見が出たのは良かった。
- ・ 観光地としてどうしていくのか考える必要がある。
- ・ 商店街さんやJAさんと連携して議論して行く必要がある。
- ・ あまり遠くない将来に解決してゆきたい。
- ・ クラブハウス跡地の整備については、市民と市とで現地を確認しながら検討会を行うことが望ましい。
- ・ 今後、市民との協議を設計の要件に加えるなどして検討してほしい。
- ・ 個人の意見としては、旧クラブハウスは文化財級の建物だったのに保存することができなかったのも、記録としては残すことも検討してほしい。

○協議事項【生田緑地のルールについて】

(事務局)

- ・ 統一感があるルールにはなっておらず、その都度その都度作られている感がある。
- ・ 3館についてはそれぞれ異なっており、観覧料等の徴収と減免のルール、運営側のルール、利用者側のルールなども設定されている。
- ・ 一覧表でそれぞれの施設の特徴などをまとめた。
- ・ 川崎市都市公園条例では、管理者側・イベント等運営者・公園利用者向けに約束事が定められている。
- ・ 条例に基づいた利用基準では、サッカーやバーベキューなど細かな点についても禁止している。
- ・ 道路公園センターでは撮影許可等についても取り決めがある。
- ・ 緑地の看板などで示している案内や禁止事項がある。

○ワークショップ（4つのテーブルでワークショップを行った。）

「生田緑地でやっていること・やりたいこと」「必要なルール・マナー、約束事など」

○発表

（1グループ）

- ・ 木の実や葉を採ることは現状では禁止されているが、人が歩く園路に落ちているものは採取しても良いのではないかと。
- ・ 夜にビジターセンターを使いたい。
- ・ ゴルフ場で野鳥を見てみたい。
- ・ 生田緑地オリジナルの特例が作れるとよい。

（2グループ）

- ・ 条例が分かりにくいのでweb等で公開する。
- ・ 自然に触れるにはどうしたらいいか。
- ・ 健康器具の設置をしたい。
- ・ 外周マラソン、水鉄砲で遊ぶなどを行いたい。
- ・ どうやればこれらを実現できるのか話し合えればよい。

（3グループ）

- ・ 中央広場でコンサートやバーベキューなど楽しいことをやりたい。
- ・ 川崎市の地元産の食材を使った飲食施設や利便性を高めるコンビニやコーヒーショップが欲しい。
- ・ ビジターセンター2Fでの夜の利用の促進やアルコールが飲めたらよい。
- ・ デートに適したコースを設定したい。

（4グループ）

- ・ 保全との兼ね合いが難しい。
- ・ 夜の利用としてフットライト等の使用を試みる。中央広場のイベントを土日でもっとやれないか。
- ・ 子育てを支援するような、子供にやさしい場になればいい。

（事務局）今後、事務局でまとめてルールやマナーなどを整理していきたい。

○ワークショップ講評

（会長）

- ・ 利用したいことを考えると、規制が多くて何もできないのではないかと？
- ・ マナー等を今後、どう設定するかを決めてゆきたい。
- ・ 積み重ねて話し合いをして前向きに考えられれば良いと思っている。

○生田緑地モニタリング

（会長）

- ・ 倉本先生の代わりに、生田緑地モニタリングについてお知らせする。
- ・ 生田緑地モニタリングについては、倉本先生の企画で、工事のあり方について、現場を見ながら考えることを目的に開催される。
- ・ 11月22日にモニタリングを実施する予定なので皆さんも参加してほしい。

以上